

～第5回長崎県高校生介護技術コンテスト～

1段階課題部門 最優秀賞受賞！

平成29年7月14日（金）シーハット大村 さくらホールにて、長崎県で福祉を学ぶ7校の高校生が、1段階課題部門・2段階課題部門に分かれて、日頃の学習の成果を発表しました。この介護技術コンテストは心温かで適切な介護サービスを提供できる能力と態度を身につけることを目的にしています。

<1段階課題部門の事例（抜粋）>

大村さん（82歳・女性・要介護2）は脳梗塞を患い、右半身に麻痺があり、立ち上がりや歩行や衣服の着脱に一部介助が必要です。脳梗塞を発症する前は家事や趣味の園芸を楽しんでいました。しかし、最近は意欲が低下し、認知症の症状も少し見られます。現在大村さんは居室のベッド上で端坐位になっています。これから大村さんと一緒にホールに行き、レクリエーションを行ってください。但し、水分補給を必ずどこかで一回行ってください。



生活科学科3年坂本夢乃さん、川井穂香さんが安全・安楽を心がけ、優しく丁寧に声をかけ、利用者の自立支援ができるよう介助しました。見事最優秀賞を受賞する素晴らしい発表でした。

また、介護ロボットや最新の福祉機器の紹介があったり、介護の現場で働く方のお話を聞いたり、介護について深く学ぶ機会となりました。

